

平成 31 年 2 月 22 日

各 位

会社名 エレマテック株式会社
 代表者名 代表取締役社長 加藤 潤
 (コード番号 2715 東証第一部)
 問合せ先 取締役常務執行役員 清水 厚志
 (TEL 03-3454-3526)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 30 年 4 月 26 日に公表した平成 31 年 3 月期通期 (平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日) の業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

- (1) 平成 31 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正
 (平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	198,000	6,600	6,300	4,500	219 円 80 銭
今回修正 (B)	185,000	6,300	6,000	3,300	160 円 04 銭
増減額 (B-A)	△13,000	△300	△300	△1,200	—
増減率 (%)	△6.6%	△4.5%	△4.8%	△26.7%	—
前期実績 (参考) (平成 30 年 3 月期)	196,238	6,480	6,085	4,376	213 円 76 銭

(2) 修正の理由

当社は、連結子会社から当社への配当方針を見直したことに伴い、海外連結子会社の留保利益に対して、当社が将来の配当受取り時に納付すると想定される税金総額を繰延税金負債として約 11 億円計上することとしました。この結果、法人税等調整額が大幅に増加することにより、親会社株主に帰属する当期純利益が、前回予想を下回る見込みです。

また、売上高・営業利益・経常利益については、スマートフォン関連部材の販売が低調に推移していること及び物流費の増加などにより、前回予想を下回る見込みです。

なお、上記の業績予想の修正については、現時点で現金支出を伴うものではない法人税等調整額の計上を主としていることから、配当予想の修正はございません。

(参考) 平成 30 年 4 月 26 日公表 配当予想

	年間配当金 (円)		
	第 2 四半期末	期 末	合 計
配 当 予 想		36	66
当 期 実 績	30		
前 期 実 績 (平成 30 年 3 月期)	25	40	65

(注)

上記の予想は、現時点で入手可能な情報にもとづき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記の予想と異なる場合があります。

以 上

平成 31 年 2 月 22 日

繰延税金負債の計上に関するお知らせ

当社は、連結子会社から当社への配当方針の変更を決定し、それに伴い繰延税金負債を計上することとなりましたのでお知らせいたします。

1. 繰延税金負債計上の理由

当社は、連結ベースでの資金の効率化と為替リスクの低減を図るため、連結子会社から当社への配当方針を変更し、機動的により多くの配当金を連結子会社から回収することとしました。海外連結子会社から、当社への配当を行う際には以下の税金費用が発生します。

- ① 海外連結子会社が所在する各国で課される海外源泉税
- ② 当社が受け取る配当金に対する日本で課される本邦法人税

税効果会計において、連結財務諸表の作成上、将来的に親会社の子会社からの受取配当金について負担することになる税金の額を、繰延税金負債として計上しなければならないことから、今回、連結子会社の当社に対する配当方針を変更したことに伴い、将来的に発生が見込まれる税金負担額を、前もって当期に繰延税金負債に計上する経理処理をすることとしました。

2. 業績への影響

本繰延税金負債の計上により、平成 31 年 3 月期通期において、法人税等調整額(損)が約 11 億円増加し、一時的に親会社株主に帰属する当期純利益が同額減少しますが、これは上記の経理処理を行ったためであり、当社の収益力低下を意味するものではありません。また、現時点で現金支出を伴うものではない法人税等調整額の計上を主としていることから、配当予想の修正はございません。なお、当該影響は上記の「業績予想の修正に関するお知らせ」に織り込んでおります。

以 上